

令和8年10月9日

山梨県福祉保健部医務課

課長 清水 裕司

電話 055-223-1480 (内線 3400)

報道関係者各位

令和8年度「臓器移植普及推進月間」におけるライトアップの実施について

臓器移植の一層の定着・推進を図るため、国では毎年10月を「臓器移植普及推進月間」と位置づけ各種の普及啓発事業を実施しています。

また、10月16日は家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する「グリーンリボンデー」です。

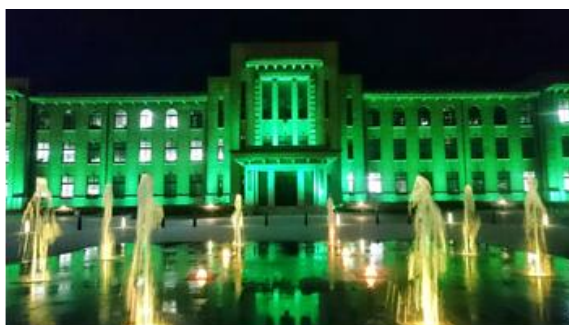
この日を中心に、全国各地のランドマークや建物などが移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップされる「GREEN LIGHT-UP PROJECT」が展開されます。

本県でもこの取り組みに呼応し、10月15日(木)～10月22日(木)の期間、県庁別館及び県議会議事堂、そして甲府駅前信玄公像及びココリを緑色にライトアップします。

○ グリーンライトアップについて

期 間：令和8年10月15日(木)～10月22日(木)※土日も実施します

場 所：山梨県庁別館、山梨県議会議事堂、甲府駅前信玄公像、ココリ



[GREEN LIGHT-UP PROJECT]

臓器移植医療への理解が広がることを目的として、全国各地のランドマーク等を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップする、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催のプロジェクトです。

グリーンは「成長と新しいいのち」を意味し、いのちの贈りものによって結ばれた臓器提供者と移植が必要な患者のいのちのつながりを表現しています。

家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認するきっかけとして、全国で実施されています。

本県では、庁舎の照明設備が設置された平成28年度から継続して実施しています。

[全国の臓器提供・移植状況] 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク調べ

臓器移植を希望し待機されている方は約17,000人で、そのうち、移植を受けられる方は年間約600人(待機者の3.5%)となっています。 ※都道府県ごとの件数は非公表

山梨県福祉保健部医務課

医療企画担当 主任 荻原

電話 055-223-1480 (内線 3406)